

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

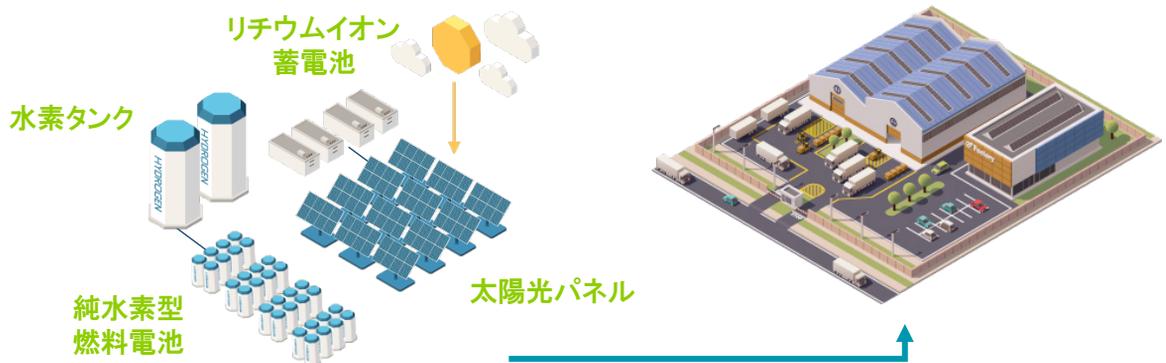
vol.13

パナソニック、完全再エネの実証施設を稼働

パナソニックは、草津拠点(滋賀県草津市)で、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで賄う実証施設「H2 KIBOU FIELD」の稼働を開始させました。純水素型燃料電池99台(495kW)と太陽光パネル1,820枚(約570kW)、余剰電力を蓄えるリチウムイオン蓄電池(約1.1MWh)という3電池の連携による自家発電だけで工場を稼働させることを目指します。本格的に水素を活用する工場のRE100化*は、「世界で初めての試み」(同社)です。3電池を連携させた独自のエネルギーマネジメントシステムによって、工場での電力需要データや気象予報データ、運転中の機器モニタリング情報などを基に発電計画を立てることにより、最適かつ安定した電力供給の実現を目指します。

2030年までにすべての事業会社で二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロにする目標を掲げるパナソニック。実現に向けた取り組みに注目が集まります。

*「Renewable Energy 100%」の略称で、事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで調達することを目指す取り組みのこと



※上記はイメージです。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。